

こんにちは

西  学校です

見附市立西中学校
学校だより

令和6年1月18日
第16号

西中のブランドを受け継ぐ

校長 水戸 巖

2024年がスタートしました。元旦の能登半島地震にはびっくりしましたね。皆さんの御家庭はいかがだったでしょうか。被災された皆様にお悔やみ申し上げます。

本年も西中の子どもたちの成長・活躍を目指し、学校・家庭・地域が力を合わせていきましょう。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

3学期のスタートに当たり、始業式では、次のメッセージをおくりました。

* * * * *

新年の節目、凛と引き締まった気持ちの中で今年にける思いを新たにしたいことと思います。

私は、右の詩が好きで毎年この時期にワンパターンのように紹介させていただいています。この新年の新鮮な思いをいつまでも大切にしていきたいでしょう。

さて、3学期です。まもなく皆さんは、新しいステージへとステップアップします。そこで、この3学期は、生徒会長が掲げる“チャレンジ”そして新しいステージに向けて「準備・助走をする学期」にしてほしいと願っています。

そのために次の2つを意識しよう。

① 西中のブランドとは？

40年以上ゆっくと成長し続ける企業として有名な「伊那食品工業」という会社があります。そして、低迷からの脱却を果たした自動車メーカーがあります。2つの企業に共通することは“ブランド”を大切にすること。伊那食品工業の塚越会長は、「ブランドとは、信頼ある企業が、信頼ある製品をつくって、ファンをもつこと」と表現しています。再生した自動車メーカーは、徹底したデザイン性の追求にブランド価値を求め、社員の士気を高め顧客の心をつかむことで再生を果たしました。

西中のブランドとは、何でしょうか。良き伝統とは何でしょうか。西中には素敵な伝統がたくさんありますね。それが西中のブランドになります。西中がさらに成長していくために、まずは「西中のブランドとは？」を見つめ、受け継いでいきましょう。

② 整理をする

西中の明和会活動は、感心するくらい活発です。活発すぎて心配していることがあります。昨年は「2023年・西中の漢字」のネガティブ・ワードにおいて「忙」があがったように、忙しい1年だったのではないかと思います。「あぶはちとらず」「二兎を追う者は、一兎をも得ず」ということわざがありますが、そのようにならないかという心配です。西中がさらに発展していくために、思い切って活動を整理することにチャレンジしてみてもどうでしょうか。

笑顔で挨拶を交わし

小さなことにも喜び

嘘を言わず 悪口も言わず

全てのことに感謝し 人のしあわせを祈る

1月1日の気持ちを

皆がみんな 12月31日まで

持ち続けていられたら 美しい国になる

星野富弘・作

使用済み切手をボランティア団体におくいました



昨年末、ボランティア部の生徒に呼びかけ、使用済み切手の切り取り作業を行いました。たくさんの生徒が集まってくれ、最初に校長室を訪れた生徒たちがあっという間に作業を進めてくれ、後からきてくれた生徒たちの仕事がなくなるくらいでした。うれしい気持ちになりました。切り取った切手は、写真にあるようにボランティア団体に送付いたしました。発展途上国への医療支援等に活用されます。

『見附市こども・子育てどまんなか条例(仮称)』に係るこども対象パブリックコメントを募集しています！

見附市では、地域全体でこどもの育ちを支え合い、見附市の未来を担うこともたちが幸せに暮らすのとのできる地域社会を実現するために、『見附市こども・子育てどまんなか条例(仮称)』というきまりの案を作成しました。こども基本法では、こどもの意見を聞く仕組みを持つことが義務付けられています。

そこで、当事者であるこどもから条例についての意見を募集します。以下のとおりお願いします。

1. 対象 小学1年生～
2. 資料等の閲覧・入手方法
 - ・公共機関(市役所4階、保健福祉センター、ネーブルみつけ、図書館など)
 - ・見附市ホームページ
3. 意見の提出方法
 - ・郵送、ファックス、電子メールにて「意見書」に意見を記入し子ども課へ提出
4. 募集期間
 - ・令和6年1月15日(月)～2月13日(火)



子どもたちの活動の様子をホームページ(学校の様子)でお知らせしています。ぜひ、ご覧ください。

見附のイメージキャラクター
ミック